科目名	技術系公務員対策２							年度	2025
英語科目名	Measures for technical civil servants 2							学期	前期
学科・学年	土木・造園科 2年次	必／選	選	時間数	30	単位数	2	種別※	講義+演習
担当教員	柳川恒之	教員の実務経験		有	実務経験の職種		建設コンサルタント		

【科目の目的】

土木系技術者の公務員試験で過去に出題された専門科目の試験問題を解き合格できる実力をつける。

【科目の概要】

公務員試験に向けて、教養試験および専門試験の対策を行ないます。

【到達目標】

土木系技職の公務員試験に合格することを到達目標とする。

【授業の注意点】

過去問の項目ごとに問題の解き方や解くための公式等についての説明をした上で、確認テストとして類似の問題を実際に解いてみることで理解をするという流れのため、講義、問題演習とも集中して取り組むこと。日本工学院授業心得（学生用）を守ること。授業時間数の４分の３以上出席しない者は単位を認定しない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル２ あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	土木基礎力(その1)をすべて理解している。	土木基礎力(その1)を理解している。	土木基礎力(その1)をほぼ理解できている	土木基礎力(その1)について理解できないところは少ない。	土木基礎力(その1)を理解できていないところが多い。
到達目標 B	土木基礎力(その2)をすべて理解している。	土木基礎力(その2)を理解している。	土木基礎力(その2)をほぼ理解できている	土木基礎力(その2)について理解できないところは少ない。	土木基礎力(その2)を理解できていないところが多い。
到達目標 C	水理学(その1)をすべて理解している。	水理学(その1)を理解している。	水理学(その1)をほぼ理解できている	水理学(その1)について理解できないところは少ない。	水理学(その1)を理解できていないところが多い。
到達目標 D	水理学(その2)をすべて理解している。	水理学(その2)を理解している。	水理学(その2)をほぼ理解できている	水理学(その2)について理解できないところは少ない。	水理学(その2)を理解できていないところが多い。
到達目標 E	土質力学(その1)をすべて理解している。	土質力学(その1)を理解している。	土質力学(その1)をほぼ理解できている	土質力学(その1)について理解できないところは少ない。	土質力学(その1)を理解できていないところが多い。

【教科書】

配布プリント等

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

授業への取り組み、理解度を総合的に評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	技術系公務員対策２	年度	2025
英語表記	Measures for technical civil servants 2	学期	前期

回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1〜15	問題演習	過去問題の演習	1	過去５年間分の問題を解く	試験合格のスキルを身につける	1	